



町を挙げて国際交流の機運を醸成 ～佐賀県江北町でシドニーセミナーを実施～

(一財)自治体国際化協会交流支援部交流親善課 主査 土山 朋子

AUS、NZより5人の参加者を迎えて

2019年2月12日から21日の日程で、オーストラリア、ニュージーランドより5人の自治体幹部をお迎えし、海外自治体幹部交流協力セミナー2018(シドニー事務所管内)を実施しました。セミナーのテーマは、「少子高齢化に対応した住みたい・住みやすいまちづくり」です。

初日から14日までの東京セミナーでは、「日本の地方自治」の講義で日本の自治制度について知識を得た後、東京都の少子高齢化の現状および福祉のまちづくり、現在建設中の高輪ゲートウェイ駅と日本橋におけるまちづくりの講義および視察を実施し、まずは都心における政策やまちづくりについて学ぶ機会を得ました。



シドニーセミナーの参加者たち～東京都庁にて

その後、15日から佐賀県江北町に舞台を移し、地方交流事業を実施しました。江北町ってどんな町なんだろう…ドキドキしながら到着した参加者たちを待っていたのは、江北町の皆様の町を挙げての大歓迎でした。

佐賀県江北町での地方交流事業

【2月15日 江北町セミナースタート】

江北町役場の庁舎前では、「Welcome to Kohoku!!!」と書かれた大きな横断幕とともに町長、議長はじめ多くの職員の皆様が、我々を温かい拍手で出迎えてくれました。町長表敬、町の各部署の視察の後、町長から江北町の概要および今回のセミナーのテーマについてご説明いただきました。東京セミナーで日本の地方都市の現状に

ついて学んでいた参加者たちは、少子高齢化の時代でありながら江北町が人口維持できている理由や町の戦略に興味津々。その他、若者の大都市流出や雇用創出といった参加者の自治体に共通する課題についてもたくさんの質問がなされました。

その夜、江北町による歓迎夕食会が開催されました。歓迎夕食会に先駆け、着付けと生け花を体験した参加者たちは「一度着てみたかったの!」と大喜び。着物姿の5人が向かった会場にはおよそ100人もの町民の皆様が集まっており、歓迎夕食会が盛大に始まりました。



たくさんの町民の皆様が集まった歓迎夕食会

夕食会に参加された参加者と交流する中学生
町民の皆様は、老若男女さまざまでした。秋に学校交流でオーストラリアを訪れていた中学生たちは、上達した英語で積極的に参加者に話しかけ、また、小さな子どもが参加者にあやとりを教える場面もありました。英語が得意ではなくても、知っている単語と身振り手振り、時には翻訳アプリを使いながら楽しそうに交流を深める様子が見られました。そして、参加者たちには集まった江北町の皆様のおもてなしの気持ちは十分に伝わっており、「こんなにも歓迎されたのは人生で初めてで、感動で泣きそう」などという感想も聞かれました。



地元の方々による吟詠あり、舞踊ありの夕食会の最後には、全員で「上を向いて歩こう」を合唱。参加者たちからもオーストラリアの歌の披露があり、夕食会は盛況のうちに幕を閉じました。

【2月16、17日 座禅体験、環境施設視察～ホームステイ】

朝から龍澤寺にて座禅などを体験した後、地元の女性会と町議会議員との意見交換会を視察しました。その後、ごみ処理などの環境事業について学ぶため、ごみステーションやごみの収集分別などを行う企業、町の下水道終末処理場を視察し

ました。参加者たちの自治体でも、埋め立てをいかに減らすかが課題となっており、終始熱心に視察し、質問していたのが印象的でした。



ごみの収集分別について学ぶ参加者たち

夕方から翌日にかけて、ホームステイで日本の生活を体験。戻ってきた参加者たちは、餅つきや地元の方々とのバーベキュー、お茶会、書道など、ホームステイ先での思い出話で大盛り上がりで、写真や子どもたちに描いてもらった自分の絵を嬉しそうに見せるなど、充実した表情を見せていました。

【2月18日 クリーンセンター視察、有田焼絵付け体験】

朝から神社を参拝した後、江北町を含む4市5町から成る佐賀県西部広域環境組合が運営するさが西部クリーンセンターを視察。巨大な施設でのごみ処理の様子についてはさることながら、広域連合による運営では自治体にどの程度の負担があるかなど、質問は財政面にも及びました。

午後は、有田焼の絵付けを体験し、佐賀の地に古くから伝わる文化を体感しました。

【2月19日 教育関係施設ほか視察、帰国前意見交換会～20日 江北町セミナー終了】

地域住民の方々との憩いの場であるふれあい交流センターにはじまり、幼児教育センター、こどもセンター、江北中学校といった教育施設を視察しました。幼児教育センターでは、園児から歌と折り紙のプレゼントがあり、参加者たちもお礼にオーストラリアの鳥の歌を歌うなど、ほほえま



園児の皆さんとの交流の様子

しい交流的一幕がありました。

その後、江北町議会の議場にて帰国前意見交換会が行われました。町長、議長はじめ町の幹部の方々から町を視察したうえで多くの示唆などがあり、予定していた3時間があっという間に過ぎるほど、有意義な意見交換となりました。

翌朝、朝早くにもかかわらず見送りに来られた町長、副町長はじめ町の方々の温かさに再度触れ、名残り惜しさを感じながら東京へと戻りました。



議場での帰国前意見交換会の様子

参加者と受入れ自治体、双方にとって実りあるセミナーへ

今回のシドニーセミナーを終え、参加者からは「非常にいいセミナーで、一生忘れられない」との感想が寄せられました。江北町の皆様の町を挙げてのおもてなしの数々と町で過ごした数日間は、参加者たちにとって間違いなく貴重な経験となったようです。私自身、共に過ごした数日間で、日本ではごく普通とも思える日常が他国の方にはとても新鮮で学ぶべきものとなること、異なる文化に生きる者同士の意見交換からは、非常に貴重で得難いものが生まれることを再確認しました。

それと同時に、今回地方交流事業を受け入れてくださった江北町からも「多数の町民が参加者と交流を持てたことにより国際化意識の向上が図られた」といった感想が寄せられました。江北町は、明治維新150周年にあたる2018年を「交流元年」と位置づけ、オーストラリアとの学校交流など、新たな交流を始めておられます。今回のセミナーを通じてさらに醸成された町の国際交流の機運や、新たに生まれた参加者と江北町の方々との交流が、江北町の国際交流の次の一歩につながることを願っております。